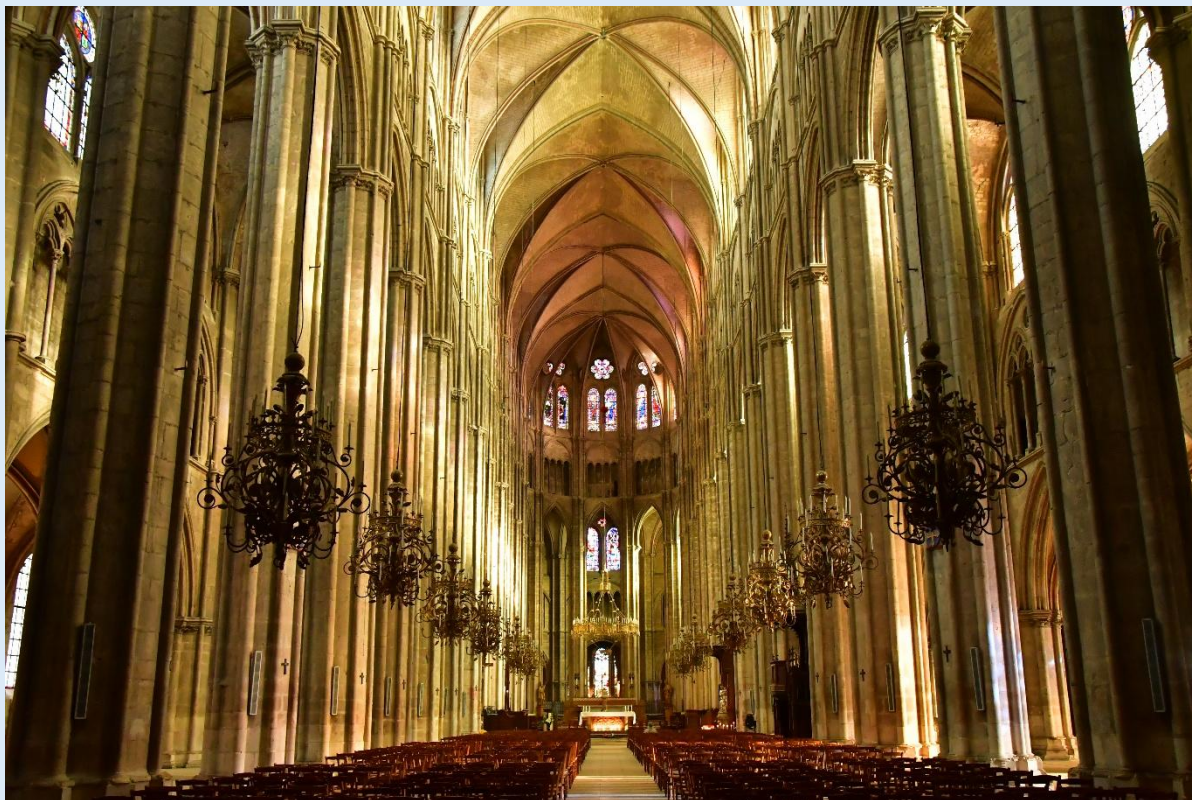




(フランス、ブルージュ大聖堂、12-13 世紀 酒井健撮影)

ジョルジュ・バタイユとアート

ー 時と空間のマニエリスム

講師：酒井健（法政大学名誉教授） 専門はバタイユ研究、西欧芸術史

日時：2025 年 10 月 3 日（金）18：00～ *17：30 開場

場所：明治大学 和泉キャンパス（京王線・井の頭線「明大前」駅下車徒歩約 5 分）
和泉図書館ホール

概要：ジョルジュ・バタイユ（1897-1962）は 20 世紀フランスの思想家であり、芸術についても多くを語りました。その対象は、旧石器時代から現代アートにまで及びます。彼の芸術観は独特の人間観と宇宙観に根差します。人間も宇宙も過剰なエネルギーの発露と見ているのです。今回は題材をフランス中世のゴシック建築と宗教音楽、20 世紀のシュルレアリスム絵画に絞り、これらの芸術表現を時間と空間の視点から、それもマニエリスムという力の余剰の視点から、考えていきたいと思います。パワーポイントによるスライドの提示によって具体性を持たせます。（講師記）

コーディネーター：岩野卓司（教養デザイン研究科・法学部教授）

★参加無料・申込不要★ どなたでも参加可能です